

# 第136回事業年度上半期財務諸表等

〔 令和2年4月 1日から 〕  
〔 令和2年9月30日まで 〕

財 務 諸 表  
附 属 明 細 書 等

日 本 銀 行

# 第136回事業年度上半期財務諸表

〔 令和2年4月 1日から  
令和2年9月30日まで 〕

日 本 銀 行

# 1. 財 産 目 録

第136回事業年度上半期末（令和2年9月30日現在）

日本銀行

科 目	金 額	備 考
( 資 産 の 部 )	円	
金 地 金	441,253,409,037	
現 金	175,157,964,693	
国 債	529,956,386,268,744	額 面 518,056,493,400,000 円
コマーシャル・ペーパー等	4,256,815,197,553	額 面 4,256,700,000,000 円
社 債	5,348,268,109,952	額 面 5,325,000,000,000 円
金銭の信託（信託財産株式）	652,861,821,003	
金銭の信託（信託財産指数連動型上場投資信託）	34,186,166,592,825	
金銭の信託（信託財産不動産投資信託）	642,063,395,821	
貸 出 金	104,895,645,000,000	
電 子 貸 付	104,895,645,000,000	1,921 口
外 国 為 替	8,652,618,307,553	
外 貨 預 け 金	1,971,523,516,405	
外 貨 債 券	2,105,034,889,082	
外 貨 投 資 信 託	63,375,782,066	
外 貨 貸 付 金	4,512,684,120,000	
代 理 店 勘 定	6,050,530,424	預け先 79 か所
そ の 他 資 産	598,480,983,660	
取立未済切手手形	29,242,362	9 枚
預貯金保険機構出資金	225,000,000	2 口
国際金融機関出資	15,278,374,364	1 口
政府勘定保管金	23,053,308,229	6 種
未収法人税等還付金	92,744,746,279	
未 収 利 息	454,963,442,031	
そ の 他 の 資 産	12,186,870,395	
有 形 固 定 資 産	215,018,155,495	
建 物	104,580,681,346	延面積 615,071.60 平方メートル
土 地	84,124,182,999	507,181.61 平方メートル
リ ー ス 資 産	7,131,814,529	20,520 点
建 設 仮 勘 定	7,446,239,628	
その他の有形固定資産	11,735,236,993	動 産 9,925 点
無 形 固 定 資 産	125,825,201	
権 利 金	125,825,201	
資 産 の 部 合 計	690,026,911,561,961	

科 目	金 額	備 考
( 負 債 の 部 )		
発 行 銀 行 券	113,572,840,901,836	
預 金	517,808,719,481,055	
当 座 預 金	487,460,030,613,678	1,108 口
そ の 他 預 金	30,348,688,867,377	142 口
政 府 預 金	47,158,702,114,761	
当 座 預 金	150,000,720,842	
国 内 指 定 預 金	46,810,246,624,907	
そ の 他 政 府 預 金	198,454,769,012	
売 現 先 勘 定	621,447,933,902	10 口
そ の 他 負 債	62,852,078,096	
未 払 送 金 為 替	12,579,473,310	
未 払 法 人 税 等	3,901,000,000	
リ ー ス 債 務	7,533,037,634	
そ の 他 の 負 債	38,838,567,152	
退 職 給 付 引 当 金	204,394,626,091	
債 券 取 引 損 失 引 当 金	4,996,672,993,013	
外 国 為 替 等 取 引 損 失 引 当 金	1,355,585,000,000	
負 債 の 部 合 計	685,781,215,128,754	
( 純 資 産 の 部 )		
資 本 金	100,000,000	
法 定 準 備 金	3,316,771,429,522	
特 別 準 備 金	13,196,452	
当 期 剰 余 金	928,811,807,233	
純 資 産 の 部 合 計	4,245,696,433,207	
負 債 お よ び 純 資 産 の 部 合 計	690,026,911,561,961	

## 2. 貸借対照表

第136回事業年度上半期末（令和2年9月30日現在）

（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（ 資 産 の 部 ）		（ 負 債 の 部 ）	
金 地 金	441,253,409,037	発 行 銀 行 券	113,572,840,901,836
現 金	175,157,964,693	預 金	517,808,719,481,055
国 債	529,956,386,268,744	当 座 預 金	487,460,030,613,678
コマーシャル・ペーパー等	4,256,815,197,553	そ の 他 預 金	30,348,688,867,377
社 債	5,348,268,109,952	政 府 預 金	47,158,702,114,761
金銭の信託（信託財産株式）	652,861,821,003	当 座 預 金	150,000,720,842
金銭の信託（信託財産指数連動型 上場投資信託）	34,186,166,592,825	国 内 指 定 預 金	46,810,246,624,907
金銭の信託（信託財産不動産投資 信託）	642,063,395,821	そ の 他 政 府 預 金	198,454,769,012
貸 出 金	104,895,645,000,000	売 現 先 勘 定	621,447,933,902
電 子 貸 付	104,895,645,000,000	そ の 他 負 債	62,852,078,096
外 国 為 替	8,652,618,307,553	未 払 送 金 為 替	12,579,473,310
外 貨 預 け 金	1,971,523,516,405	未 払 法 人 税 等	3,901,000,000
外 貨 債 券	2,105,034,889,082	リ ー ス 債 務	7,533,037,634
外 貨 投 資 信 託	63,375,782,066	そ の 他 の 負 債	38,838,567,152
外 貨 貸 付 金	4,512,684,120,000	退 職 給 付 引 当 金	204,394,626,091
代 理 店 勘 定	6,050,530,424	債 券 取 引 損 失 引 当 金	4,996,672,993,013
そ の 他 資 産	598,480,983,660	外 国 為 替 等 取 引 損 失 引 当 金	1,355,585,000,000
取 立 未 済 切 手 手 形	29,242,362	負 債 の 部 合 計	685,781,215,128,754
預貯金保険機構出資金	225,000,000	（ 純 資 産 の 部 ）	
国 際 金 融 機 関 出 資	15,278,374,364	資 本 金	100,000,000
政 府 勘 定 保 管 金	23,053,308,229	法 定 準 備 金	3,316,771,429,522
未 収 法 人 税 等 還 付 金	92,744,746,279	特 別 準 備 金	13,196,452
未 収 利 息	454,963,442,031	当 期 剰 余 金	928,811,807,233
そ の 他 の 資 産	12,186,870,395	純 資 産 の 部 合 計	4,245,696,433,207
有 形 固 定 資 産	215,018,155,495		
建 物	104,580,681,346		
土 地	84,124,182,999		
リ ー ス 資 産	7,131,814,529		
建 設 仮 勘 定	7,446,239,628		
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	11,735,236,993		
無 形 固 定 資 産	125,825,201		
権 利 金	125,825,201		
資 産 の 部 合 計	690,026,911,561,961	負 債 お よ び 純 資 産 の 部 合 計	690,026,911,561,961

### 3. 損益計算書

第136回事業年度上半期〔令和2年 4月 1日から  
令和2年 9月30日まで〕

(単位：円)

科 目	金 額
経常収益	1,407,578,633,432
貸出金利	24,023
貸付金利	24,023
国債利息	552,480,251,859
コマーシャル・ペーパー等利息	140,557,078
社債利息	174,484,885
外国為替収益	55,416,891,243
外貨債券収益	10,543,493,346
外貨投資信託収益	3,575,426,874
外貨預け金等利息	41,297,971,023
その他経常収益	799,366,424,344
金銭の信託（信託財産株式）運用益	97,276,528,400
金銭の信託（信託財産指数連動型上場投資信託）運用益	675,943,641,205
金銭の信託（信託財産不動産投資信託）運用益	14,333,376,810
受入手数料	4,725,724,308
その他の経常収益	7,087,153,621
経常費用	324,968,264,192
売現先利息	▲5,490,625,740
外国為替費用	103,903,225,416
為替差損	103,903,225,416

科 目	金 額
経費	89,160,679,262
銀行券製造費	23,906,311,280
国庫国債事務費	8,013,221,743
給与等	25,197,808,902
交通通信費	1,458,576,919
修繕費	585,048,787
一般事務費	16,283,939,143
租税公課	6,249,131,257
減価償却費	7,466,641,231
その他経常費用	137,394,985,254
補完当座預金制度利息	103,403,447,593
支払手数料	68,369,152
その他の経常費用	33,923,168,509
経常利益	1,082,610,369,240
特別利益	51,951,000,000
外国為替等取引損失引当金取崩額	51,951,000,000
特別損失	197,451,831,455
固定資産処分損	71,831,455
債券取引損失引当金繰入額	197,380,000,000
税引前当期剰余金	937,109,537,785
法人税、住民税及び事業税	8,297,730,552
当期剰余金	928,811,807,233

## 重要な会計方針

### 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

円貨建債券及びコマーシャル・ペーパー等（コマーシャル・ペーパー（資産担保コマーシャル・ペーパー及び不動産投資法人コマーシャル・ペーパーを含む。）及び短期社債等（短期社債、保証付短期外債、資産担保短期債券及び短期不動産投資法人債をいう。）をいう。以下同じ。）の評価は、移動平均法による償却原価法により行っている。

外貨建債券及び外貨建投資信託の評価は、時価法により行っている。

株式、指数連動型上場投資信託受益権及び不動産投資法人投資口の評価は、移動平均法による原価法により行っている。

コマーシャル・ペーパー等、社債（不動産投資法人債を含む。）、株式、指数連動型上場投資信託受益権及び不動産投資法人投資口の時価が著しく下落した場合には、減損処理を行っている。

なお、金銭の信託の信託財産として保有する有価証券の評価は、当該有価証券の種類に応じ、上記と同様の方法により行っている。

### 2. 有形固定資産及び無形固定資産の減価償却方法

有形固定資産及び無形固定資産については、それぞれ次の方法により償却している。

建 物：定率法を採用し、税法基準の償却率による。ただし、平成10年4月1日以後の取得分は定額法を採用し、税法基準の償却率による。

建物付属設備及び動産備については、平成28年4月1日以後の取得分は定額法を採用し、税法基準の償却率による。

所有権移転：自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によりファイナンス・リース取引

所有権移転外：リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

ファイナン

ス・リース取引

そ の 他：税法基準に準拠している。

### 3. 外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建資産及び負債については、上半期末日における外国為替相場による円換算額を付している。ただし、国際金融機関出資の換算は、取得時における外国為替相場を用いて行っている。また、米ドル資金供給オペレーションを行うことに伴い計上した資産及び負債の換算は、ニューヨーク連邦準備銀行との間のスワップ取引に適用する外国為替相場を用いて行っている。

### 4. 引当金の計上基準

#### (1) 貸倒引当金

貸倒引当金は、過去の一定期間における貸倒実績から算出した貸倒実績率に基づき計上している。ただし、特定の債権について政策委員会が特に必要と認める場合には、別途の所要額を計上している。

#### (2) 退職給付引当金

退職給付引当金は、事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、上半期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付見込額を事業年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっている。過去勤務費用は、発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（10年）による定額法により、費用処理することとしている。数理計算上の差異は、発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（10年）による定額法により、翌事業年度から費用処理することとしている。



### (3) 債券取引損失引当金

債券取引損失引当金は、日本銀行法施行令（平成9年政令第385号）第15条及び同令附則第1条の2、日本銀行法施行規則（平成10年大蔵省令第3号）第9条から第11条及び同規則附則第3条並びに会計規程第18条及び同規程附則の規定に基づき計上している。

### (4) 外国為替等取引損失引当金

外国為替等取引損失引当金は、日本銀行法施行令（平成9年政令第385号）第15条、日本銀行法施行規則（平成10年大蔵省令第3号）第9条から第11条及び会計規程第18条の規定に基づき計上している。

### (5) 株式取引損失引当金、指数連動型上場投資信託取引損失引当金及び不動産投資信託取引損失引当金

株式取引損失引当金、指数連動型上場投資信託取引損失引当金及び不動産投資信託取引損失引当金は、引当金の種類に応じ、金銭の信託の信託財産として保有する株式、指数連動型上場投資信託受益権又は不動産投資法人投資口の時価の総額が帳簿価額の総額を下回る場合に、その差額に対して計上している。

## リース取引に係る注記事項

### 1. ファイナンス・リース取引

所有権移転外ファイナンス・リース取引

#### (1) リース資産の内容

有形固定資産

主として、ホストコンピュータなどの電子情報処理組織である。

#### (2) リース資産の減価償却の方法

重要な会計方針「2. 有形固定資産及び無形固定資産の減価償却方法」  
に記載のとおりである。

### 2. オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース  
料

#### (1) 借手側

1年以内	2 1 7 百万円
<u>1年超</u>	<u>4 6 2 百万円</u>
合計	6 8 0 百万円

#### (2) 貸手側

1年以内	1 百万円
<u>1年超</u>	<u>2 7 百万円</u>
合計	2 9 百万円

令和2年11月10日

日本銀行第136回事業年度上半期財務諸表  
についての監事の意見

日本銀行法（平成9年法律第89号）第52条第1項の規定に基づき、第136回事業年度上半期に係る下記財務諸表を監査した結果、その記載事項は、日本銀行の令和2年9月30日現在の財産の状況及び令和2年4月1日から令和2年9月30日までの半期の損益の状況を適正に示しているものと認める。

記

財 産 目 録

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

日本銀行監事

柳 原 良 太

小野澤 洋 二

藤 田 博 一

# 第136回事業年度上半期附属明細書

〔 令和2年4月 1日から  
令和2年9月30日まで 〕

日 本 銀 行

## 第136回事業年度上半期附属明細書

日本銀行

### 1. 資産の明細

#### (1) 金地金

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
金地金	441,253,409,037	441,253,409,037	0

#### (2) 現金

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
現金	205,061,074,044	175,157,964,693	△29,903,109,351

(注) 「現金」に計上しているのは支払元貨幣（金融機関等の求めに応じて払い出される貨幣）である。

#### (3) 国債

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
短期国債	12,376,748,753,584	44,576,030,669,907	32,199,281,916,323
国庫短期証券	12,376,748,753,584	44,576,030,669,907	32,199,281,916,323
長期国債	473,541,381,234,838	485,380,355,598,837	11,838,974,363,999
利付国債2年	24,652,914,488,787	27,984,803,860,496	3,331,889,371,709
利付国債5年	103,090,204,751,684	103,984,214,972,727	894,010,221,043
利付国債10年	195,783,509,606,789	199,948,412,692,062	4,164,903,085,273
利付国債20年	100,693,959,571,233	103,447,212,613,249	2,753,253,042,016
利付国債30年	35,650,417,776,620	36,363,918,230,278	713,500,453,658
利付国債40年	7,736,061,284,948	7,807,706,455,447	71,645,170,499
変動利付国債	3,190,677,058,322	2,738,212,410,908	△452,464,647,414
物価連動国債	2,743,636,696,455	3,105,874,363,670	362,237,667,215
合 計	485,918,129,988,422	529,956,386,268,744	44,038,256,280,322

#### (4) コマーシャル・ペーパー等

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
コマーシャル・ペーパー等	2,551,889,033,716	4,256,815,197,553	1,704,926,163,837
短期社債等	2,551,889,033,716	4,256,815,197,553	1,704,926,163,837

(注) 「コマーシャル・ペーパー等」とは、コマーシャル・ペーパー（資産担保コマーシャル・ペーパー及び不動産投資法人コマーシャル・ペーパーを含む。）及び短期社債等（短期社債、保証付短期外債、資産担保短期債券及び短期不動産投資法人債をいう。）である。

#### (5) 社債

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
社債	3,220,825,190,968	5,348,268,109,952	2,127,442,918,984

(注) 「社債」には、不動産投資法人債を含む。

#### (6) 金銭の信託（信託財産株式）

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
金銭の信託（信託財産株式）	727,714,519,973	652,861,821,003	△74,852,698,970
株式	708,268,080,053	638,318,523,128	△69,949,556,925
未収配当金等	19,446,439,920	14,543,297,875	△4,903,142,045

(注) 「金銭の信託（信託財産株式）」とは、信託銀行を通じて金融機関から買い入れた株式（受渡しベース）及び未収配当金等である。

#### (7) 金銭の信託（信託財産指数連動型上場投資信託）

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
金銭の信託（信託財産指数連動型上場投資信託）	29,718,938,645,617	34,186,166,592,825	4,467,227,947,208
指数連動型上場投資信託	29,718,938,645,617	34,186,158,195,639	4,467,219,550,022
信託金銭	0	45,133,817,331	45,133,817,331
未収貸借取引収益	0	8,397,186	8,397,186
受入担保金	0	45,133,817,331	45,133,817,331

(注) 「金銭の信託（信託財産指数連動型上場投資信託）」とは、信託銀行を通じて買い入れた指数連動型上場投資信託受益権（受渡しベース）、未収分配金、指数連動型上場投資信託受益権貸借取引により担保として受け入れた信託金銭、未収貸借取引収益及び担保として受け入れた信託金銭の返還義務である受入担保金（負債）である。

### (8) 金銭の信託（信託財産不動産投資信託）

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
金銭の信託（信託財産不動産投資信託）	575,305,889,680	642,063,395,821	66,757,506,141
不動産投資信託	567,476,100,601	632,861,739,572	65,385,638,971
未収分配金	7,829,789,079	9,201,656,249	1,371,867,170

(注) 「金銭の信託（信託財産不動産投資信託）」とは、信託銀行を通じて買い入れた不動産投資法人投資口（受渡しベース）及び未収分配金である。

### (9) 貸出金

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
電子貸付	54,328,648,000,000	104,895,645,000,000	50,566,997,000,000
共通担保資金供給オペレーションによる貸付金	54,328,648,000,000	104,895,645,000,000	50,566,997,000,000
合 計	54,328,648,000,000	104,895,645,000,000	50,566,997,000,000

(注) 「共通担保資金供給オペレーションによる貸付金」には、固定金利方式の共通担保資金供給オペレーションによる貸付金の残高、「貸出支援基金」の運営として行う成長基盤強化を支援するための資金供給による貸付金（米ドル資金供給に関する特則による貸付金を除く。）の残高、「貸出支援基金」の運営として行う貸出増加を支援するための資金供給による貸付金の残高及び新型コロナウイルス感染症対応金融支援特別オペレーション（令和2年4月27日をもって「新型コロナウイルス感染症にかかる企業金融支援特別オペレーション」から名称変更）による貸付金の残高が含まれる。また、上半期末残高には、被災地金融機関を支援するための資金供給オペレーションによる貸付金の残高も含まれるほか、上半期初残高及び上半期末残高のいずれにも、令和2年6月30日をもって廃止した被災地金融機関を支援するための資金供給オペレーション基本要領による貸付金の残高及び平成二十八年熊本地震にかかる被災地金融機関を支援するための資金供給オペレーション基本要領による貸付金の残高が含まれる。

### (10) 外国為替

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
外貨預け金	1,732,262,396,986	1,971,523,516,405	239,261,119,419
外貨債券	2,355,224,668,143	2,105,034,889,082	△250,189,779,061
外貨投資信託	60,613,713,087	63,375,782,066	2,762,068,979
外貨貸付金	21,818,155,510,000	4,512,684,120,000	△17,305,471,390,000
合 計	25,966,256,288,216	8,652,618,307,553	△17,313,637,980,663

(注1) 「外貨預け金」とは、外国中央銀行、国際決済銀行等への預け金である。

(注2) 「外貨債券」とは、外国政府等の発行する国債等である。

(注3) 「外貨貸付金」の残高は、「貸出支援基金」の運営として行う成長基盤強化を支援するための資金供給における米ドル資金供給に関する特則による貸付金の残高及び米ドル資金供給オペレーションによる貸付金の残高である。

### (11) 代理店勘定

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
代理店勘定	23,994,220,003	6,050,530,424	△17,943,689,579

(注) 「代理店勘定」とは、国庫国債事務の取扱いを委託した日本銀行の代理店に対する支払資金等の預け金などである。

### (12) その他資産

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
取立未済切手手形	6,356,685	29,242,362	22,885,677
預貯金保険機構出資金	225,000,000	225,000,000	0
国際金融機関出資	15,278,374,364	15,278,374,364	0
政府勘定保管金	38,707,429,941	23,053,308,229	△15,654,121,712
未収法人税等還付金	52,621,989,719	92,744,746,279	40,122,756,560
未収利息	470,183,576,216	454,963,442,031	△15,220,134,185
その他の資産	13,028,818,457	12,186,870,395	△841,948,062
合 計	590,051,545,382	598,480,983,660	8,429,438,278

(注1) 「取立未済切手手形」とは、現金として受け入れた小切手、手形類で取立未済のものである。

(注2) 「国際金融機関出資」とは、国際決済銀行への出資である。

(注3) 「政府勘定保管金」とは、日本銀行が国庫金として受け入れた引揚貨幣(磨損その他の事由により流通に不相当となった貨幣)などである。



## (13) 有形固定資産

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期中増加額	上半期中減少額		上半期末残高	減価償却 累 計 額
				うち 償 却		
建 物	105,726,690,246 (613,442.13)	2,534,966,955 (1,629.47)	3,680,975,855 (0.00)	3,637,060,890 ( — )	104,580,681,346 (615,071.60)	345,463,204,113 ( — )
土 地	84,124,182,999 (507,049.75)	0 (131.86)	0 (0.00)	— ( — )	84,124,182,999 (507,181.61)	— ( — )
リース資産	7,598,665,055 (21,983)	1,438,641,364 (632)	1,905,491,890 (2,095)	1,899,637,802 ( — )	7,131,814,529 (20,520)	9,391,850,480 ( — )
建設仮勘定	7,458,248,538	2,733,007,758	2,745,016,668	—	7,446,239,628	—
その他の 有形固定資産	11,536,321,563 (9,940)	1,548,519,812 (76)	1,349,604,382 (91)	1,335,256,130 ( — )	11,735,236,993 (9,925)	21,516,010,016 ( — )
合 計	216,444,108,401	8,255,135,889	9,681,088,795	6,871,954,822	215,018,155,495	376,371,064,609

(注1) 建物及び土地の( )内の数字は面積(単位:㎡)である。

(注2) リース資産の( )内の数字はリース物件の点数である。

(注3) その他の有形固定資産の( )内の数字は動産の点数である。

(注4) 建物の増加額は、営業所等の改築・改修工事によるものである。

(注5) リース資産の増加額は、電子情報処理組織等の取得によるものである。

(注6) 建設仮勘定の増加額は、営業所等の改築・改修工事によるものである。

(注7) その他の有形固定資産の増加額は、銀行券自動鑑査機等の取得によるものである。

## (14) 無形固定資産

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期中増加額	上半期中減少額		上半期末残高	減価償却 累 計 額
				うち 償 却		
権利金	129,890,768	0	4,065,567	4,065,567	125,825,201	879,074,146
合 計	129,890,768	0	4,065,567	4,065,567	125,825,201	879,074,146

(別表) 「貸出支援基金」による貸付金の内訳

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
成長基盤強化を支援するための資金供給	8,927,628,000,000	8,507,901,165,000	△419,726,835,000
貸出増加を支援するための資金供給	42,813,800,000,000	53,017,700,000,000	10,203,900,000,000
合 計	51,741,428,000,000	61,525,601,165,000	9,784,173,165,000

(注) 「成長基盤強化を支援するための資金供給」は、「貸出支援基金」の運営として行う成長基盤強化を支援するための資金供給による貸付金(米ドル資金供給に関する特則による貸付金を含む。)の残高である。

## 2. 負債及び純資産の明細

### (1) 発行銀行券

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
一万円券	101,595,164,260,000	105,684,577,430,000	4,089,413,170,000
五千円券	3,396,965,820,000	3,316,986,745,000	△79,979,075,000
二千円券	195,340,610,000	193,801,654,000	△1,538,956,000
千円券	4,285,752,109,500	4,234,670,682,000	△51,081,427,500
その他発行銀行券	143,352,684,150	142,804,390,836	△548,293,314
合 計	109,616,575,483,650	113,572,840,901,836	3,956,265,418,186

(注) 「その他発行銀行券」とは、上記4券種以外で現在も有効な五百円券、百円券、五十円券、十円券、五円券及び一円券の合計である。

### (2) 預金

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
当座預金	395,256,035,035,254	487,460,030,613,678	92,203,995,578,424
その他預金	51,820,204,328,113	30,348,688,867,377	△21,471,515,460,736
合 計	447,076,239,363,367	517,808,719,481,055	70,732,480,117,688

(注) 「その他預金」とは、外国中央銀行等から受け入れた預金である。

### (3) 政府預金

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
当座預金	150,001,026,112	150,000,720,842	△305,270
国内指定預金	12,239,860,364,524	46,810,246,624,907	34,570,386,260,383
その他政府預金	243,989,202,798	198,454,769,012	△45,534,433,786
合 計	12,633,850,593,434	47,158,702,114,761	34,524,851,521,327

(注1) 「国内指定預金」とは、国庫の運営上発生した余裕金で当座預金から組替整理された預金である。

(注2) 「その他政府預金」は、別口預金(資産勘定の「現金」や「政府勘定保管金」に計上している支払元貨幣や引揚貨幣残高に対する見合い預金等)などである。

#### (4) 売現先勘定

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
売現先勘定	24,116,347,566,200	621,447,933,902	△23,494,899,632,298
国債売現先	4,010,698,682,000	0	△4,010,698,682,000
国債補完供給	860,938,924,202	241,793,567,995	△619,145,356,207
米ドル資金供給用担保国債供給	19,244,709,959,998	379,654,365,907	△18,865,055,594,091

(注) 「売現先勘定」とは、国債の買戻条件付売却に伴って発生する金銭債務の額である。

#### (5) その他負債

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期末残高	上半期中増減(△)高
未払送金為替	14,760,764,172	12,579,473,310	△2,181,290,862
未払法人税等	28,031,000,000	3,901,000,000	△24,130,000,000
リース債務	7,988,759,130	7,533,037,634	△455,721,496
その他の負債	33,305,596,355	38,838,567,152	5,532,970,797
合 計	84,086,119,657	62,852,078,096	△21,234,041,561

(注) 「その他の負債」の上半期末残高のうち35,457,859,984円は、未払補完当座預金制度利息である。

## (6) 引当金

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期中増加額	上半期中減少額	上半期末残高
退職給付引当金	203,316,793,791	5,783,120,078	4,705,287,778	204,394,626,091
債券取引損失引当金	4,799,292,993,013	197,380,000,000	0	4,996,672,993,013
外国為替等取引損失引当金	1,407,536,000,000	0	51,951,000,000	1,355,585,000,000
合 計	6,410,145,786,804	203,163,120,078	56,656,287,778	6,556,652,619,104

(注) 引当金の計上は、重要な会計方針に沿って行っている。

## (7) 資本金、準備金

(単位:円)

区 分	上半期初残高	上半期中増加額	上半期中減少額	上半期末残高
資本金	100,000,000	0	0	100,000,000
法定準備金	3,252,007,626,093	64,763,803,429	0	3,316,771,429,522
特別準備金	13,196,452	0	0	13,196,452
合 計	3,252,120,822,545	64,763,803,429	0	3,316,884,625,974

(注1) 「法定準備金」とは、日本銀行法第53条第1項及び第2項の規定に基づき、損失の補てんまたは配当に充てるために積み立てた準備金である。

(注2) 「特別準備金」とは、戦後の金融機関再建整備促進のため、大蔵大臣命令により他の金融機関とともに昭和20年上期から昭和24年上期までの間支払停止した配当金の相当額を日本銀行法の一部を改正する等の法律（昭和22年法律第46号）附則の規定により積み立てた準備金である。

### 3. 収益及び費用の内容

#### (1) 経常収益

貸出金利息

貸付金利息

電子貸付に係る利息 24,023円である。

国債利息

国債の受入利息及び利息調整額 552,480,251,859円である。

コマーシャル・ペーパー等  
利息

コマーシャル・ペーパー等の利息調整額  
140,557,078円である。

社債利息

社債の受入利息及び利息調整額 174,484,885円である。

外国為替収益

外貨債券収益

外貨債券の受入利息 17,842,341,695円、貸出料  
3,801,039円並びに売却、償還及び期末の評価に伴  
う損失金 7,302,649,388円である。

外貨投資信託収益

外貨投資信託の運用益 3,575,426,874円である。

外貨預け金等利息

外貨預け金の利息及び外貨貸付金の利息  
41,297,971,023円である。

その他経常収益

金銭の信託（信託財産  
株式）運用益

売却益等に伴う利益金 97,276,528,400円である。

金銭の信託（信託財産  
指数連動型上場投資信  
託）運用益

分配金等に伴う利益金 675,943,641,205円である。

金銭の信託（信託財産  
不動産投資信託）運用  
益

分配金等に伴う利益金 14,333,376,810円である。

受入手数料 国債取扱手数料、日銀ネット受入手数料、外国為替関係事務取扱手数料など 4,725,724,308円である。

その他の経常収益 退職給付引当金取崩額など 7,087,153,621円である。

## (2) 経常費用

売現先利息 国債の買戻条件付売却に伴う受入利息 5,490,625,740円である。

外国為替費用  
為替差損 上半期中の外国為替相場の変動により生じた損失金 103,903,225,416円である。

### 経費

銀行券製造費 独立行政法人国立印刷局に支払った銀行券の製造費 23,906,311,280円である。

国庫国債事務費 日本銀行代理店等に委託した国庫国債事務に係る取扱手数料など 8,013,221,743円である。

給与等 役員給与 213,246,900円、職員給与 20,254,886,224円及び退職手当 4,729,675,778円である。

交通通信費 旅費交通費 497,563,603円及び通信費 961,013,316円である。

修繕費 営業所、行舎の諸修理費など 585,048,787円である。

一般事務費 消耗品費 316,123,834円、光熱水道費 712,328,569円、建物機械等賃借料 2,945,245,904円、建物機械等保守料 4,812,521,769円及び事務費 7,497,719,067円である。

租税公課 法人税、住民税及び事業税以外の租税、公課（固定資産税、都市計画税等） 6,249,131,257円である。

減価償却費	建物、リース資産等の減価償却費 7,466,641,231円である。
その他経常費用	
補完当座預金制度利息	補完当座預金制度の支払利息 103,403,447,593円（プラス金利に係る利息 116,191,183,850円、マイナス金利に係る利息 12,787,736,257円）である。
支払手数料	諸手数料 68,369,152円である。
その他の経常費用	通貨スワップ取引の支払利息、税額控除の適用を受けない源泉所得税相当額、退職給付引当金繰入額など 33,923,168,509円である。

### (3) 特別利益

外国為替等取引損失引当金取崩額	外国為替等取引損失引当金の取崩額 51,951,000,000円である。
-----------------	--------------------------------------

### (4) 特別損失

固定資産処分損	営業所の除却等に伴う損失金 71,831,455円である。
債券取引損失引当金繰入額	債券取引損失引当金の繰入額 197,380,000,000円である。

### (5) 当期剰余金等

税引前当期剰余金	税引前当期剰余金は 937,109,537,785円である。
法人税、住民税及び事業税	法人税、住民税及び事業税は 8,297,730,552円である。
当期剰余金	当期剰余金は 928,811,807,233円である。



令和2年11月10日

日本銀行第136回事業年度上半期財務諸表に  
係る附属明細書についての監事の意見

第136回事業年度上半期財務諸表に係る附属明細書を  
監査した結果、その記載事項は財務諸表の記載内容を適正に  
補足しているものと認める。

日本銀行監事

柳原良太

小野澤洋二

藤田博一